

株式用語	用語説明
移動平均乖離率 (イドウヘイキンカイリ リツ)	前日終値と指定期間通常、5日・25日・13週・26週のいずれかの移動平均線の平均率が離れている度合いを表す。 移動平均線からの乖離が大きくなると、株価は乖離を少なくする(移動平均線に近づく)方向に動く傾向にある。
RCI(順位相関係数)	過去数日間における株価の順位から、その期間の日数との相関関係を指数化した指標。一般的に25%以下が良い。RCI=[1-6d/N(N-1)] RCIが0%に近づくと割安、100%近づくと割高となる。(テクニカル指針) 通常のRCIは、-100%から100%の範囲で計算されますが、ケンミレでは他の指数との比較をしやすいように0%から100%に修正して計算しております。 (同じ日数で計算された一般的なRCI) = (ケンミレのRCI) × 2 - 100%
RSI(相対力指数) (Relative Strength Index)	過去数日間における株価の変動幅(上げ幅・下げ幅)から相場のリズムや法則性を読み取る指標です。RSI=値上り幅の合計÷(値上り幅の合計+値下がり幅の合計) この値は0%から100%の間で推移します。(逆張り愛好家の為の指針) RSIが0%に近づくと割安、100%に近づくと割高となる。
スキヤスティクス	スキヤスティクスは相対力指数同様「買われ過ぎ」「売られ過ぎ」の状態を判断するのに利用する。過去数日間における株価の変動幅(上げ幅・下げ幅)から相場のリズムや法則性を読み取る指標です。 この値は0%から100%の間で推移します。 ストキヤスティクスが0%に近づくと割安、100%に近づくと割高となる。
ボリュームレシオ	銘柄の出来高をもとに、出来高動向から割高・割安を判断するために使用されるテクニカル指標。 株価の上昇・下落が出来高と関係しているという過去の習性を利用するために使わ
サイコロジカルライン	指定期間内で上昇した日数の比率が何%を占めているのかを計算、相場のリズムを読み取ろうとするテクニカル指標。 他のテクニカル指標が株価水準や変動率という変数を採り入れているのに対して、上がったのか下がったのかだけを扱う。 上昇も下落も、いつまでも続くものではないという過去の習性を利用して投資家の心理的な(サイコロジカルな)リズムから、相場の強弱を把握する。
EPS	一株当たり利益のこと。
PBR(Price Book- value Ratio)	株価純資産倍率
BPS(Book-value Price Share)	一株当たり純資産のこと。
ROE(Return on Equity)	株主資本利益率のこと。
移動平均線	過去何日(週)分かの株価の平均値を計算して、グラフにしたもの。期間のとりかたにより、短期線(6日・12日・30日など)、中期線(13週・75日・80日)長期線(200日・26週)がある。
押し目率	上昇率を算出した上昇トレンドの値上がり幅に対して、現在の株価がねを戻しているのか(下落したか)を表す数値のこと。間近の上昇幅に対して、何パーセント下落したかを見るためのもの。
押し目率(例)	過去に200円から300円まで上がった値上がり幅は100円です。現在270円だとすると、押し目率は30%となります。(30円÷100円)約2/3押しです。日足で見ると、
PER(株価収益率) (Price Earning Ratio)	一株辺りの利益に対して、株価が何倍まで買われているか。数値が低いほど「割安」。但し、同業種と比べて低いのが条件。
増益率	「来期予想経常利益」が今期からどのくらい伸びているかを表す。
SQ	先物取引の決済日で3月6月9月12月の第2金曜日に決済される。
ゴールデンクロス (逆はデッドクロス:こ ちらはダメ)	13週移動率平均率が、26週移動平均率を追い越すときのクロスポイント。株価が下落した後に横ばいの期間があり、追い越すときがベスト。 株価÷年間税引後利益

マーケットメイク銘柄	<p>JASDAQ市場では、取引所取引と同様に、ひとつの場所に注文を集め売買を執行する「オークション方式(JASDAQ売買システムによる)」と、マーケットメイカー(証券会社)が注文の相手方となって売買が行われる「マーケットメイク方式(JASDAQマーケットメイクシステムによる)」の取引があります。</p> <p>マーケットメイク方式は、売買高(流動性)が低い上場企業の株式であっても、十分な流動性を制度的に確保するために導入されたものであり、マーケットメイク銘柄は、発行会社からの申請とマーケットメイカーとなる証券会社の届出により、ジャスダック証券取引所から指定され、このマーケットメイク方式で取引されます。マーケットメイカーは、売り気配及び買い気配(売買価格)と、その気配で売買可能な株数を常時提示する義務があり、売買の相手方となりますので、「投資家はいつでも売買ができる」という環境が提供されています。したがって、売り・買い両方の注文がなければ売買が成立しないオークション方式より、いつまでも売買ができないという機会</p>
権利落ち	<p>権利落ち後の株価での売買は、権利付最終日までは分割前の株価で取引され、最終日の翌日の立会いから分割された株価で取引されます。新株流通は2カ月後ぐらい。</p> <p>新興市場では3月末、9月末に権利落ちする企業が多く、2カ月後の5月末、11月</p>
配当利回り	<p>投資した資金に対して、配当が年率で何パーセントに回るかを利回り計算したもの。年間の配当金を株価で割り、それに100を掛けて計算する。</p>